

I . 事 業 報 告

(1) 事業の概要

① 当期における助成事業等の実施状況は第1表及び第2表に示すとおりであります。

今年度は、研究助成230件(前年度154件)、国際交流助成6件(前年度2件)の助成を実施いたしました。

研究調査助成につきましては策定された事業計画通りの内容であり、本財団の目的とする先端材料研究助成の責務を果たすことができました。一方 国際交流等助成においては、今年度におきましても新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的感染の拡大の影響があり、研究者の派遣、招聘が一部実施出来ない状況でありました。

第1表 本年度助成事業予算額と助成金交付額

(単位：円)

	助成事業区分	助成事業予算額	助成金交付額	交付件数	備考
1	研究調査助成	320,000,000	300,375,000	230	
2	国際交流等助成	10,000,000	3,000,000	6	

なお、応募受付件数は次の通りでありました。

研究調査助成 461件
国際交流等助成 8件

第2表 本年度普及啓発事業予算額と実施額

(単位：円)

事業名	事業予算額	事業実施額	件数	備考
普及啓発事業	0	0	0	

② 2023年度助成対象者の募集及びその決定

2022年10月1日より同年11月30日までの間に助成申請書の受付を行い、選考委員会の選考を経て、第42回理事会において助成対象者を決定致しました。

なお、第3表に応募受付件数と助成決定件数及び助成決定総額を示します。

第3表 2023年度 応募件数と助成決定件数

(2023年3月末日現在)

		応募受付件数	助成決定件数	助成決定額	備考
1	研究調査助成	329	227	39,827万円	
2	国際交流等助成	12	11	546万円	

(2) 収 支

① 収入

- 1) 当期収入予算額 340,807,224円 に対して、決算額は 471,456,031円 となりました。
- 2) 基本財産配当収入としては
株式配当金 455,000,000 円（1株につき、期末配当15円及び中間配当20円計 35円）を受け取りました。
- 3) 基本財産受取利息収入としては
受取利息 14,340,987 円（劣後債2件、外国証券4件、普通預金および定期預金）を受け取りました。
- 4) 特定資産利息収入としては
受取利息 1,899,333 円（外国証券1件、および普通預金）を受け取りました。

② 支出

当期支出は、予算額 367,920,234円 に対して、決算額は 336,549,039円 となりました。研究調査助成費・国際交流等助成費等の主要事業費については、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の懸念により、2022年度の助成金贈呈式の式典を中止しました。

研究調査助成費は、ほぼ計画通り実施しております。国際交流等助成費については、2名の研究者の派遣、招聘については予定していた国際会議の開催が中止となり実施されませんでした。他6名の研究者につきましては予定のとおり実施しております。

管理費の支出については、特に変更ありません。

以 上